

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●桜花賞はステレンボッシュが優勝

4月7日(日)に行われた桜花賞(G I)ではステレンボッシュ(牝3歳/美浦・国枝栄厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。

●石田拓郎騎手がJRA初勝利をあげる

4月6日(土)の1回福島1日・第2レースではロマンスライトが1着となり、同馬に騎乗した石田拓郎騎手(美浦・新開幸一厩舎)はJRA初勝利(136戦目)をあげました。

●5名の調教師が相次いでJRA初勝利をあげる

今年3月6日(水)に新規開業した調教師が相次いでJRA初勝利をあげました。4月6日(土)の1回福島1日・第4レースではヴァレタカズマが1着となり、藤野健太調教師(栗東)が初勝利(延べ15頭目)をマーク。翌7日(日)、3回中山6日・第4レースではレッドセニョールが優勝、矢嶋大樹調教師(美浦)が初勝利(延べ15頭目)をあげ、2回阪神6日・第6レースではウイニンググレイスが1着となり河嶋宏樹調教師(栗東)も初勝利(延べ20頭目)。中山・第7レースではタイセイフェスタが1着、森一誠調教師(美浦)が初勝利(延べ8頭目)をあげ、ラストは1回福島2日・第8レースでマルカブリッツが優勝、福永祐一調教師(栗東)も初勝利(延べ13頭目)をマークしました。

●3名の調教師が節目の勝利を達成

4月6日(土)の3回中山5日・第9レースとして行われた葛飾特別ではアロッドドリームが1着となり、本田優調教師(栗東)は、現役37人目となるJRA通算400勝(延べ5318戦目)を達成しました。同日の2回阪神5日・第10レースとして行われた大阪一ハンブルクCではレッドバリエンテが1着となり、中内田充正調教師(栗東)が現役38人目となるJRA通算400勝を達成。開業から10年1か月6日での400勝達成は、池江泰寿調教師(栗東)の10年1か月12日を抜いてJRA現役最速の記録となります。翌7日(日)の2回阪神6日・第5レースではリジルが1着となり、奥村豊調教師(栗東)は現役102人目となるJRA通算200勝(延べ2502頭目)を達成しました。

●藤岡康太騎手が逝去

4月6日(土)の2回阪神5日・第7レースで落馬し、入院加療中だった藤岡康太騎手(栗東・フリー)が、4月10日(水)にご逝去されました。JRA通算成績は1万759戦803勝でした。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●東京スプリントでジャスティンがJRAから大井へ移籍後初勝利

東京スプリント(JpnⅢ、4月10日、大井、1200m)は、中団から早目に好位に進出した5番人気の大井所属馬ジャスティン(西啓太騎手、牝8歳、父オルフェヴル)が直線に入って間もなく抜け出し、このレース4年ぶり2度目の優勝。3番人気のクロジシジョーが2着に入り、途中から逃げた2番人気のテイエムトッキュウは3着、ヘリオスは4着、マルモリスペシャルは6着、1番人気に推されたアームズレインは8着に敗れています。

●スプリングC(水沢)は無敗のフジュージーン【各地の主要3歳重賞】

スプリングC(4月7日、水沢、1600m)は、逃げたフジュージーン(牝、父ゴールデンパローズ)が後続に2秒4の大差を付け、単勝1.1倍の支持に応じてデビュー以来の連勝を6に伸ばしています。あやめ賞(3月24日、水沢、1400m、牝馬)は、4番手を進んだ7番人気のミヤギシリウス(父アニマルキングダム)が残り50mで逃げ馬を捉えて優勝。新設されたネクストスター中日本(3月28日、名古屋、1500m)は、中団から追い上げた2番人気の北海道から愛知への移籍馬フークピグマリオン(騙、父ラニ)が、ゴール前で差し切り勝ち。こちらも新設のネクストスター西日本(3月28日、園田、1400m)は、3番手を追走した1番人気の高知からの遠征馬リケアサブル(牝、父ベストウォーリア)が直線入口で先頭に立って押し切り、兵庫ユースCに続く重賞2連勝を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1 ドンカスターマイル〜オオバンブルマイは13着

現地4月6日にオーストラリア・ニューサウスウェールズ州のランドウィック競馬場で行われたG1 ドンカスターマイル(3歳上、芝1600m)は、T. シラー騎手を背に後方待機から直線で鋭く伸びたセレスティアルレジェンド(49歳、牝3歳、父ダンディール、L. ブリッジ厩舎)が優勝しました。昨年11月のゴールデンイーグル優勝以来のレースとなった日本のオオバンブルマイ(55歳)は不良馬場の影響もあったか、直線で伸び切れずに13着に終わりました。

●G1 ブルーグラスS〜シエラレオネが追い込み決める

4月6日に米国ケンタッキー州のキーンランド競馬場で行われたG1 ブルーグラスS(3歳、ダート1800m)は、T. ガファリオン騎手の手綱で後方2番手を進んだシエラレオネ(牝3歳、父ガンランナー、C. ブラウン厩舎)が直線で外から鋭く追い込んで優勝。2月のG2 リズンスターS(ダート1800m)に続く重賞連勝でG1初制覇を果たしました。シエラレオネはG2 UAEダービーを制したフォーエバーヤングのいところ。5月4日のG1 ケンタッキーダービーでの対決に注目が集まります。